

クロ・ファイ

新製品

試作開発中!

マイクロクラックめっきで
硬質クロムめっきの硬度・耐食性を更に向上!!

ユーザー

加熱によるクラック
幅の拡大を抑えたい!

現在使用している硬質クロムめっきでも特に問題ないけれどももう少し耐久性、耐食性を上げたいなあ...

開発背景

通常硬質クロムめっきはサージェント浴と呼ばれる無水クロム酸と硫酸を水に溶かした浴を使用してめっきをします。その硬度は HV750~900 と十分優れていますが、それでも使用条件が過酷であるとめっきの摩耗は避けては通れません。また硬質クロムめっき皮膜中に存在するクラック(微細なひび割れ)は熱が加わることで拡大するため、用途によっては問題となることがありました。

しかし弊社では、

新たなめっき浴を開発することより

特徴

それらの問題を解決しました!!

- ★硬度がHV950~1000 と優れています。
- ★通常硬質クロムめっきと比べてクラックの加熱による拡大幅が小さい。
- ★クラック数は多いが、幅は狭く深さも小さく微細なため、素地への貫通が少なく耐食性に優れている。
- ★耐摩耗性に優れているだけでなく、相手材の摩耗量軽減効果があります。

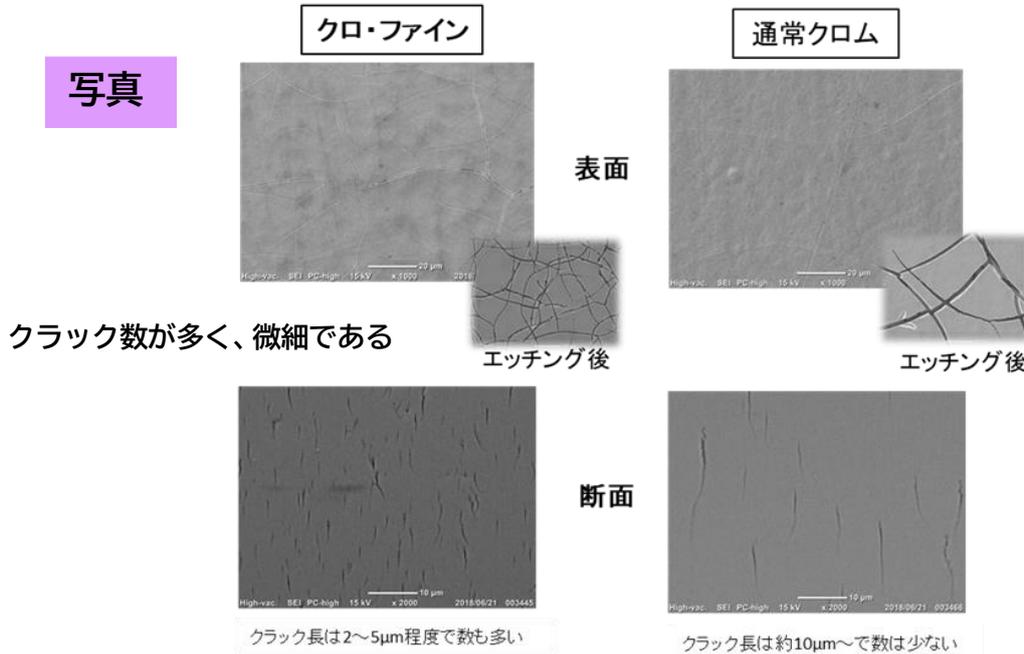
詳しくはお問い合わせください

 オテック株式会社

〒536-0002 大阪市城東区今福東3丁目1番40号 Tel:06-6939-4591 Fax:06-6939-1503

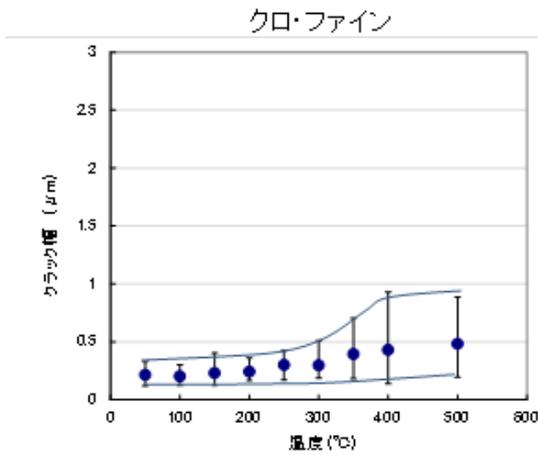
クロファインと通常クロムめっきの物性比較

写真

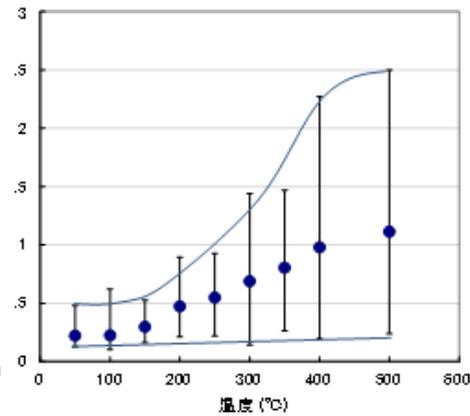


熱処理による影響

加熱によるクラック幅変化



クラック幅の拡大が小さい 通常クロム



摩耗量の比較(アルミナ球&SUJ2 球)

相手部材の摩耗量も減少

